

令和3年度 江戸川区立小岩小学校 学校関係者評価 中間評価用報告書

学校教育目標	生きる力を養う ○考える子(確かな学力) ○思いやりのある子(豊かな心) ○元気な子(健やかな体)	目指す学校像 目指す児童像 目指す教師像	○「成長」のある学校、「信頼」のある学校、「使命」のある学校 ○「確かな学力」「豊かな心」「健やかな体」をもった児童 ○生きる力を養える教師 保護者・地域を共感させられる教師
前年度までの学校経営上の成果と課題	<成果>新学習指導要領に基づく学習指導の重点化と研究推進、いじめ・不登校に対する組織的対応の充実、組織的学校の運営と働き方改革に基づく取組の充実 <課題>新学習指導要領に基づく思考力等の育成の具現化、あいさつや基本的生活習慣の定着のための学校・家庭・地域の連携、主任教諭を軸とした教職員の自律的組織的学校の運営の定着と、働き方改革の一層の推進、コロナ禍の教育活動と学校運営の推進		

教育委員会重点課題	取組項目	評価の視点	具体的な取組	数値目標	自己評価			学校関係者評価		年度末に向けた改善策
					取組	成果	成果と課題	評価	コメント	
いきいきと学ぶ学校づくり	確かな学力の向上	・「確かな学力向上推進プラン」の実施・改善や補完の実施などによる指導の充実と授業力の向上 ・「各教科等の連携教育プログラム」による連携の充実	確かな学力向上推進プランとコアプラン等に基づく、確かな学力の向上	全教員の授業公開実施46回 校内研究による検証20回 補習教室 年150回実施 連携教育プログラム検証2回	B	B	取組:A13% B71% C17% D0% 成果:A0% B58% C42% D0% 更に指導充実のための研究検証補習教室63回実施(外部活用)	B	評議員:コロナ禍、学習指導要領に基づく指導が充実してきている。一層、個別最適な学びを進めてほしい。	主体的・対話的で深い学びの指導・研究充実カリキュラム・マネジメントやESDと関連づけ
	読書科の更なる充実	・読書を通じた探究的な学習の充実(読書科ノートの活用、資料の収集の仕方や記録の取り方の指導、自己の考えをまとめ表現する方法の指導、朝読書と1単位時間の授業との関連付け、他教科との関連等) ・学校図書館の整備、学校図書館を使った授業の充実	問題解決的な学習(校内研究)と運動した人や社会、自然に関わる探求的な学習活動の全学級実施	図書ボラ読み聞かせ年8回 探究的活動:学級年3回以上 読書ノート活用:学級1回以上 学校図書館活用:学級週1回 探究的活動の図書館活用 継続読書年35時間	B	B	人や社会、自然に関わる探求的学習実施。問題解決結果を読書ノートやポップ作品でまとめ。コロナ禍、図書ボラ読み聞かせ未実施。環境整備のみ。	B	評議員:さらに学校図書館を活用した探究型の授業を期待する。	区書科指導指針に基づく指導の充実 小岩図書館との連携
	体力の向上	・体育の授業や休み時間における全校運動遊びなど主体的な運動の実施による運動意欲の向上	コロナ/仮設校舎 小岩ムーブ・統一準備運動、休み時間体育、竹馬運動の全学級実施	・小岩ムーブ:学級実施100回以上、休み時間体育年35回、竹馬学級別集中期間1回	B	C	取組AB85% 成果AB69% 小岩ムーブ策定 今後充実 全学級竹馬活動実施	B	評議員:体力テスト結果を考慮した小岩ムーブ策定はよい。充実させてほしい。	小岩ムーブの全学級継続実施と改善充実
	オリパラ教育の推進	・「オリンピック・パラリンピックレガシー創造プラン」に基づく取組、「学校2020レガシー」の設定やオリパラコーナーの充実	オリパラ教育レガシー創造プランに基づく取組 学級年35時間	コロナ禍 自己評価:AB80%以上 学校評議員評価AB80%以上	B	B	取組AB85% CD15% 全校児童によるパラクイズ作成 ポッチャ体験学習の実施	B	評議員:地域の田子ノ浦部屋力士による相撲教室ができるようになることよい。	レガシープランに基づくオリパラ教育の取組充実
	外国語教育の推進	・授業力の向上とALTの効果的な活用	研修会の実施 ALTとの連携指導の実施	推進リーダー中心に研修会3回実施 ALT打合せ8学級×35回以上実施	B	B	コロナ禍 資料による研修実施 担当主任による教員への助言 ALT打合せ58回実施	B	評議員:学習指導要領に基づき、さらに指導の充実を図ってほしい。	研修の充実と統一的な指導の実施
特別支援教育の充実	健全育成に向けた取組の強化	・いじめ・不登校の未然防止に向けた魅力ある学校づくりの取組の充実 ・チルドレン・サポートチームや生活指導連絡協議会の活用	個別対応会議、学校相談、迅速な指導の実施 生活指導連絡協議会との運動	いじめ解消100%達成 不登校児童0名達成 生活指導連絡協議会事例の校内活用2回	B	B	いじめ解消36件(児童の誤認等の確認含む) 不登校対応中2件 個別対応会議18回実施	B	評議員:SNSルール等の徹底など家庭と連携し、迅速な指導を続けてほしい。	いじめ解消100%・不登校児童0の達成 関係機関や家庭との連携一層強化
	特別支援教育の推進	・校内委員会の活性化を図ることなどによる指導・支援の充実 ・ユニバーサルデザインの視点を取り入れた個に応じた指導の充実 ・エンカレッジルームの活用促進 ・副籍交流、交流及び共同学習の充実	通常級と巡回・弱視の連携・相互支援に基づく特別支援教育の推進(コアプラン) ・コロナ禍 対象児童5名文書交流	校内研修実施年2回 個別対応会議実施20回以上 理解教育2回 UDに基づく揭示全学級実施 副籍交流11回	B	B	校内研修実施 コロナ禍、1回実施 個別対応会議の対象全児童実施 保護者との学校相談66回実施 理解教育2回実施	B	評議員:通常学級と特別支援の先生が連携や相互支援をしているのがよい。継続してほしい。	本校策定の総合計画「特別支援教育コアプラン」による推進充実
教員の資質向上	教員研修の充実	・学習用タブレットを活用した授業実施に向けた研修	タブレット研修の実施 文科省デジタル教科書の検証	タブレット研修年5回 デジタル教科書研修1回 検証授業8回	A	B	ICT研修年12回実施 研修に基づくオンライン授業やオンライン参観の実施	A	評議員:オンライン活用が充実している。保護者の肯定的な声はその表れ。	GIGAスクール構想に基づくICT活用の実施準備面の課題解消
	校内研究の充実 授業モデルの開発	新学習指導要領に基づき、各教科等で思考力等の育成の重視	思考力等を養う問題解決的な学習の全学級実施	全教員の授業公開実施46回 校内研究による検証20回	A	B	思考力育成授業 検証46回 取組:AB84% 成果:AB58% 全国学力調査 経年国語11.4%上	B	保護者・評議員:思考力等の育成を継続してほしい。	校内研究による思考力等の指導法開発・充実
特色ある教育の展開	思考力等の育成(校内研究 授業モデル)	新学習指導要領に基づき、各教科等で思考力等の育成の重視	思考力等を養う問題解決的な学習の全学級実施	全教員の授業公開実施46回 校内研究による検証20回	A	B	思考力育成授業 検証46回 取組:AB84% 成果:AB58% 全国学力調査 経年国語3.6%上	B	評議員:いい取組なので保護者に説明するとよい。	リーフレット完成を通じた学校としての指導研究の充実
	あいさつの定着(生活スタンダード)	児童自ら進んであいさつができるようにする指導の工夫	学校・PTA・地域・近隣校の運動によるあいさつ指導の充実	コロナ禍 自己評価:AB80%以上 学校評議員評価AB80%以上	B	B	取組:AB88% CD12% 成果:AB85% CD15% 一層の家庭・地域と連携し定着	B	評議員:家庭や地域と連携して定着させてほしい。あいさつ標語コンクールで地域より賞を授与した。	学校・地域・家庭並びに小中の一層の連携により挨拶の質向上
	相談体制の充実(教育を支える取組)	個々の保護者と信頼関係を築く工夫や保護者会等で保護者と教員(学校)、保護者同士が連携する工夫	コロナ禍 学校相談の実施 保護者会等の工夫	自己評価:AB評価80%以上 保護者アンケート:AB評価80%以上	A	A	取組:AB92% CD8% 成果:AB85% CD15% 相談:関わり件数のべ13613件	A	評議員:学校としてきめ細かく相談に応じている。保護者は安心する。周年もそうしたい。	学校相談の継続 広報活動の充実 周年に向け協働
	組織的学校の運営(教育を支える取組)	主たる担当職務で、起案や推進、調整、報告相談などに取組の充実	効果・効率を考えた学校運営の推進	自己評価:AB評価70%以上 学校評議員評価:B以上	A	B	取組:AB85% CD15% 成果:AB81% CD19% 昨年度末より向上	A	評議員:GIGA対応など組織的運営が進んでいる。周年に向けて更に運営を充実させてほしい。	教職員一人一人の自律的学校の運営の推進